学校番号	1201

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）化学応用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	Let’s Try NOTE 化学 vol.3,vol.4（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身の回りにあふれる化学について、物質を見ることを通して深く考え、その原理について学んでいきます。また、どのように活用すればより良い生活のために役立てることができるのかについても考え、化学に触れる機会を多くしていきます。観察や実験を行う際は見通しをもって操作・観察などを行い、問題解決能力と科学的な時事問題において正しい判断力をつけることができるようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
化学的知識やその応用例などを学習し、化学とヒトの関わりや社会との関わりについて学んでいく。
【思考力、判断力、表現力等】
日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探究する能力と表現能力を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を思考し、科学的な見方や考え方を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
演示実験を中心にしながら時間に余裕のあるときは生徒実験も可能な限り取り入れる。具体的な事例をできるだけ多く提示し、日常生活や社会との関連を図りながら身近な物質を扱うことにより化学に対する興味を育て、主体的に学習に取り組む態度を養えるように留意する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物質や化学反応について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 物質や化学反応に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質や化学反応の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質や化学反応の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、身近な化学物質へ関心を持って、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	有機化学	有機化合物と人間生活 食品 染料 医薬品	a：食品や医薬品を構成する物質について理解している b：食品や医薬品の活用例や特徴を説明できる。 c：有機化合物と人間生活に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	学習状況 プリント 定期考査	学習状況 プリント 定期考査	学習状況 プリント
2学期	高分子化合物	天然高分子化合物 糖類 タンパク質 酵素 核酸	a：天然高分子化合物の役割や機能について理解している。 b：天然高分子化合物の特徴を説明できる。 c：天然高分子化合物に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	学習状況 プリント 定期考査	学習状況 プリント 定期考査	学習状況 プリント
3学期	無機物質	周期表と元素 非金属元素の単体と化合物 典型元素の単体と化合物 遷移元素の単体と化合物 金属イオンの分離と確認	a:非金属元素の単体、化合物においてそれぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 b ：無機化合物の性質を周期表と関連付けて理解することができる c: 周期表における元素の配置に興味を持ち、各元素の分類を探求しようとする。	学習状況 プリント	学習状況 プリント 発表	学習状況 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度